

第106号 (1990年2月)

- インターモーダル輸送と欧州の輸送体制 山岸 寛
(東京商船大学教授)
- 対米国コンテナ物流の動向と海運業 山中 洋
(本名：竹ノ内 豊 司)
- 〈ソ連の海運政策の変革〉
ベレストロイカは今、何処まで進んだか 富阪 泰生
(東洋共同海運)
- 【資料】
- 昭和後期の景気変動と輸入動向 (前半) 今橋 宏
(神戸マリンターミナル)

第107号 (1990年5月)

- 戦後の船舶技術の進歩と資本主義海運の構造転換 澤 喜司郎
(山口大学経済学部教授)
- 三大リスク 竹村 英 貞
(ナビックスライン)
- ソ連海運のベレストロイカ成るか? 三浦 真 作
- 【資料】
- 昭和後期の景気変動と輸入動向 (後半) 今橋 宏
(神戸マリンターミナル)

第108号 (1990年8月)

- EC 共通海運政策の限界 松本 勇
(長崎県立国際経済大学教授)
- 大手海運会社の国際物流戦略の構図 山岸 寛
(東京商船大学教授)
- P & Oとハバク・ロイドの戦略を中心として—
- 【紹介】海運サービスの品質 吉田 三 茂
(神戸商船大学助教授)
- (Mark Casson "THE QUALITY SHIPPING SERVICES: AN ECONOMIC APPRAISAL OF STRATEGIES FOR THE EUROPEAN LINER SHPPING INDUSTRY" (G. N. Yannopoulos ed. "SHIPPING POLICIES FOR AN OPEN WORLD ECONOMY", ROUTLEDGE, 1989)の抄訳)
- 「曳船列と第三船との衝突、衝突損害賠償金の保険填補をめぐる若干の問題について」 Capt. K. Saito
(日本船主責任相互保険組合)
- 【資料】
- 山下新日本汽船とともに 一 種 宥 利
(山和商船相談役)
- 海運人の回想と備忘の記 —